

4. 肝がん

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん ※別紙4に入力した内容が反映されています。 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年実績(あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日										各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学 療法	穿刺療法		TACE/T AE	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
						RFA	PEIT		体外 照射	定位 放射線 療法			治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1 腫瘍外科	25	4	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし	× なし	大阪府立大学大学院 医学研究科 腫瘍外科 http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/relation/party.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
2 肝胆膵外科	9	9	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	○ あり	× なし	× なし		背景疾患も考慮した集学的治療を行います。 大阪府立大学大学院 医学部附属病院第2外科・心臓血管外科 http://www.med.osaka-cu.ac.jp/surgery2/	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3 放射線診断学・IVR学	9	5	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり	× なし	× なし	血管造影に関しては短期入院にて血管造影併用CT検査を含め、詳細な診断を行います。肝がんの場合は塞栓物質を用いて血管を塞栓する治療となります。細かな適応は病変の広がりや患者さまの状態によって決まります。 放射線科の紹介 http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/service/13/13.html 放射線科のホームページ http://www.med.osaka-cu.ac.jp/radiology/ivr.html		掲載あり	掲載あり	掲載あり
4 肝胆膵内科	12	12	状況 実績	× なし	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり		肝細胞癌に対する局所治療の症例数は大阪でも有数であります。外科や放射線科と密に連携を取り、治療を行っています。 大阪府立大学大学院 医学研究科 肝胆膵病態内科学 診療ご案内 http://www.med.osaka-cu.ac.jp/liver/examine/index.shtml 大阪府立大学大学院 医学研究科 肝胆膵病態内科学 スタッフ紹介 http://www.med.osaka-cu.ac.jp/liver/office/staff.shtml	掲載あり	掲載あり	掲載なし
5 放射線治療科	8	2	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり	× なし	多くの治療の選択肢の中、関係診療科との密な連携のもと最適な治療法を提案します。 大阪府立大学 医学部附属病院放射線治療科 http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/service/14/14.html		掲載なし	掲載なし	掲載なし

グループ指定を受ける施設との連携状況
※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

例: 肝がん
 昨年の治療実績ありの疾患名
 ※平成25年1月1日～12月31日
 肝がん、原発性肝がん、転移性肝がん